

伸ばすべきものは伸ばし 変えるべきものは変えていく



■新年度予算のポイント

平成16年度のお金の使い道、「予算」の編成に当たっては、市長の市政への考え方や具体的な施策をまとめた「さっぼろ元気ビジョン（本誌昨年8月号で紹介）」を実現するために、市役所内部で論議を重ねてきました。

- 市役所全体が、
- ①深刻な問題を抱えている財政状況を肝に銘じる
 - ②市民の声を聞きながら、庁内で政策・施策議論を行う
 - ③伸ばすべきは伸ばし、変えるべきは変えていく

という共通認識を基に、**予算・職員定数（人員）・機構（組織のつくり）**を一体的なものにとらえながら、新年度に取り組む事業について考えました。

→平成16年度予算・定数・機構の編成に向けた市の動き

7月	市長 施政方針「さっぼろ元気ビジョン」を発表		
	平成16年度予算の編成	職員定数と機構の編成	事務事業の総点検
9月	各局 新年度の重点事業を選考	職員定数・機構について検討	事務事業の総点検を開始
10月	各局から市長へ重点事業の内容を説明 市長 新年度の重点事業を決定。予算編成の方針を決定 各局 「予算要求書」を作成		予算要求に反映
11月		各局 定数・機構要求書を作成	定数・機構要求に反映
12月	市民へ 市役所ホームページで予算要求書を公開・意見募集 財政局 各局の「予算要求書」を査定		内部の効率化や予算にかかわる重要なものについて方針を決定
1月	市長 予算案を査定	市長 定数・機構の編成案を査定	
2月	市長 新年度の予算・職員定数・機構の編成案について記者発表		
3月	議会 新年度の予算・職員定数・機構の編成案を審議		
4月			一層取り組みを強化し、引き続き見直しを進めていく

特集

市役所は 変わる？ お金は 使う？ どう？

平成16年度を迎えるに当たり、市では昨年9月から、予算の内容や組織のあり方について検討してきました。新年度の市役所はどのように変わり、どんな仕事に取り組むのか……。これまでの市の動きや考え方と併せてお知らせします。



限られたお金を、どのように使っていくか、また、行政サービスのどの部分を伸ばし、どの部分を変えていくか——。市民の皆さんと一緒に、この課題に取り組んでいきます。